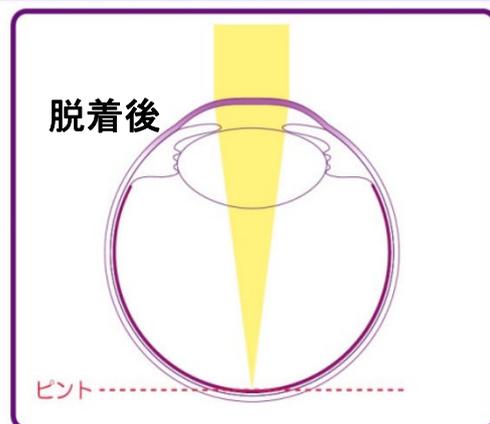
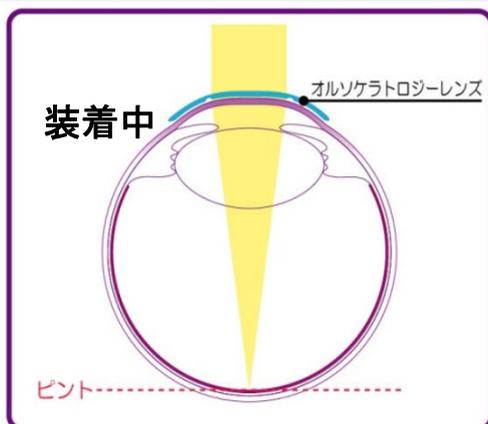
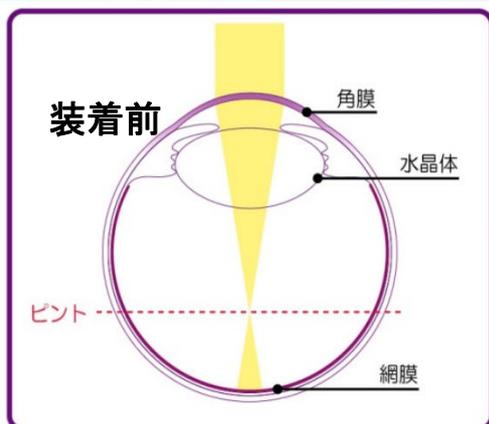


〈オルソケラトロジー治療プログラム〉 のご案内

▶オルソケラトロジーとは??

近視および近視性乱視の角膜に、特殊なデザインのハードコンタクトレンズを就寝時に装用することで、角膜の形状を一定期間変形させ、日中裸眼で過ごせるようにする視力矯正治療です。



◆特徴◆

日中裸眼で生活ができます

- ・コンタクトレンズ装用中では挿せない目薬が使用できます。
- ・スポーツ時の眼鏡やコンタクトレンズが気になりません。

装用をやめれば角膜形状は元に戻ります

- ・レーシック（手術）と異なり形状が元に戻るの安心です。
- ・毎日～数日に一度（個人差がございます）装用をしなければいけません。

慣れるまで多少お時間が必要です

- ・形状が安定するまでに1週間から1ヶ月お時間が掛かります。
- ・就寝時に装用するため、異物感は感じにくいですがハードコンタクトレンズを着けて就寝することに慣れていただく必要がございます。

必ず担当医の指示に従ってください。指示に従わずに発生した眼障害、その他の障害については本人の責任となります。

見え方が急に变化したり、何か異常を感じた場合はただちに装用を中止し、速やかに受診するようにしてください。

見え方には個人差があります。治療を受ければ誰でも視力が回復するわけではありません。



◆ オルソケラトロジーに向く方は？ ◆

「裸眼」

にこだわりを持つ方にお知らせです。

軽度・中等度の近視の方

手術に抵抗がある方

目薬を頻繁にさす方

・メガネ
・コンタクト
が煩わしい方

スポーツをする方
(特に接触のあるスポーツや
激しいスポーツ)
✓ 格闘技
✓ ラグビー
✓ 水泳 など

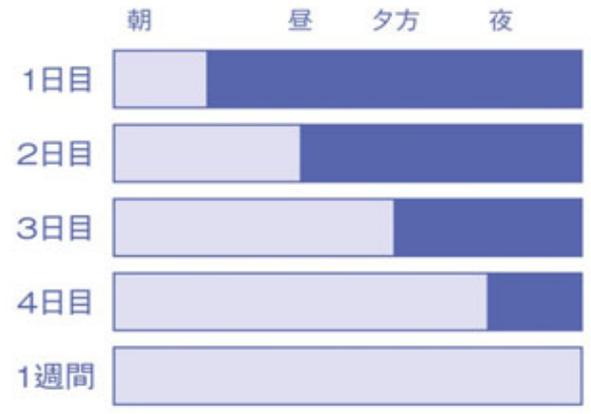
しっかりと睡眠が
取れる方

定期検査に通える方

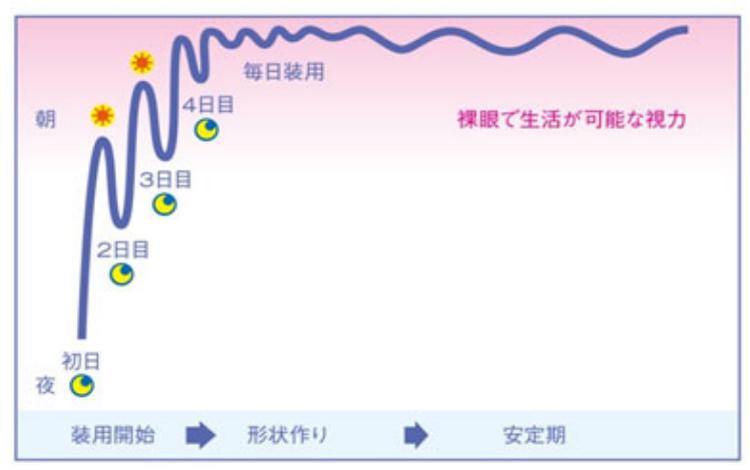
◆ オルソケラトロジー治療の流れ① ◆

【裸眼で見えるようになるまで】

● 裸眼で過ごせる時間の目安



● 安定した視力が得られるまでのイメージ



◆オルソケラトロジー治療の流れ②◆

カウンセリング

・オルソケラトロジー治療にご理解をいただけるよう、矯正原理やメリット・デメリットについてご説明いたします。

初回検査

・眼科検査及びオルソケラトロジー治療が適応可能かを判断する検査です。コンタクトレンズを装着されている方はご相談ください。

プレ装用期間

・トライアルレンズを用いて1～2週間装用体験となります。
・治療を開始する場合は必ず同意書にサインしていただく必要があります。

治療開始

・新しいレンズを注文します。
・新しいレンズと交換で、トライアルレンズを返却いただきます。

定期検査

・治療開始から以下の日程で来院が必要になります。
(翌日)、1週間後、(2週間後)、1ヶ月後、3ヶ月後、以降3ヶ月毎。
・定期検査は治療後の安全性・有効性の確認に大変重要になります。
お守りできない場合は途中で治療を中止させていただく場合がございます。
・眼の状態により定期検査以外にも来院が必要になる場合がございます。

◆オルソケラトロジー治療費用について◆

➤ 初年度：両眼 165,000円(税込) / 片眼 104,500円(税込)

➤ 2年目以降：年間 24,200円(税込)※3ヶ月に1回交換のレンズケース含む

詳細は担当医・スタッフまでお尋ねください。

交換保証

【処方交換】 【破損交換】
1年以内、片眼2回ずつまでは無料
(レンズ半分以上をご持参のうえ)
【紛失・保証期間外】
全額患者負担
片眼レンズ更新費49,500円(税込)

返金保証

装用開始後
・1ヶ月以内：両眼88,000円(片眼44,000円)
を返金いたします(レンズは返却いただきます)。レンズ紛失や破損がある場合は返金できません。

装用体験

管理費15,400円(税込)、保証金30,000円をお支払いいただきます。装用体験後、中止する場合には、トライアルレンズをご返却時に保証金をご返金いたします。(管理費は返金致しかねます。保証金についてはトライアルレンズに破損・紛失がある場合、15,000円/片眼を貰い受けます。)本治療に入る場合は、初回費用135,000円(税込)を装用体験後にお支払いください。

その他注意点

- ・オルソケラトロジー治療は自由診療ですので、保険適用外、全額自己負担となります。
- ・オルソケラトロジー治療は、眼鏡やコンタクトレンズのように視力矯正ではなく治療です。従って医療控除申請が可能です(領収書が必要になります)。

※その他目薬、ケア用品、定期検査以外の受診については別途費用が必要になります。

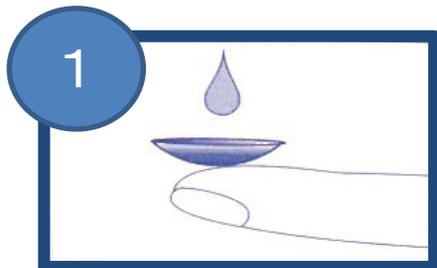
◆ レンズのお取り扱いについて ◆

■ レンズを取り扱う前に

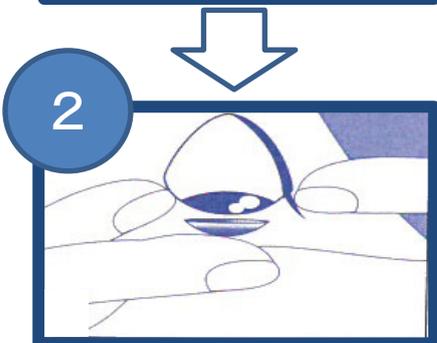
レンズを取扱う際には、手指を石けんでよく洗い、石けんの成分が残らないように十分にすすいでください。汚れた手指でレンズを取扱うと、感染症を発症するおそれがあります。レンズをキズつけないように爪を短く切り、先を丸くなめらかにしてください。



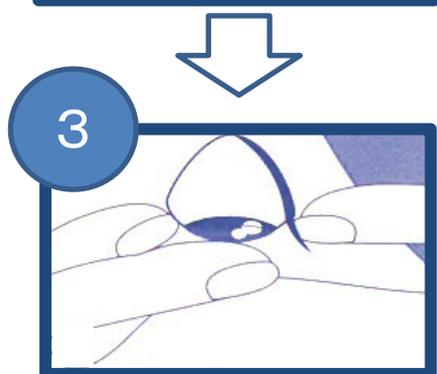
■ レンズのつけ方



1 水道水でレンズを軽くすすぎ、利き手の人差し指の先にレンズをのせ、人工涙液等を1～2滴レンズの上に落とします。

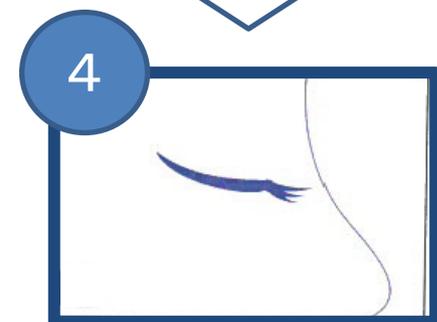


2 鏡を下に置き、両方の眼で鏡をまっすぐ見ます。同じ手の中指で下まぶたのまつ毛の生え際を下げ、もう一方の手の人差し指で上まぶたのまつ毛の生え際を上げます。（まつ毛の生え際に指をあてると眼を大きく開けることができます）



3 レンズを軽く押しつけるようにして、黒眼にのせます。（眼を細めたり、まばたきをしたりすると、うまく黒眼にのりません。もう一方の眼も開いたままの方が、つけやすい場合があります）

※レンズを強く押しつけてしまうと、眼にキズがついてしまうおそれがありますので、レンズは軽く押しつけるようにして装用してください。

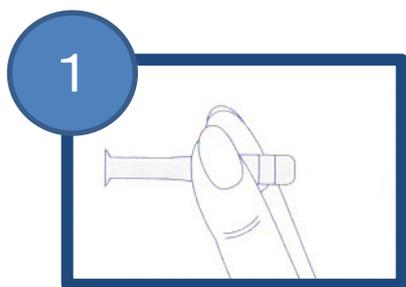


4 レンズが黒眼にのったら、押さえている指をゆっくり離し、軽く眼を閉じて顔を上げ、レンズを安定させます。（急に指を離したり、強く眼を閉じたりすると、レンズが白眼にズレたり、はずれて落ちてしまうことがあります）

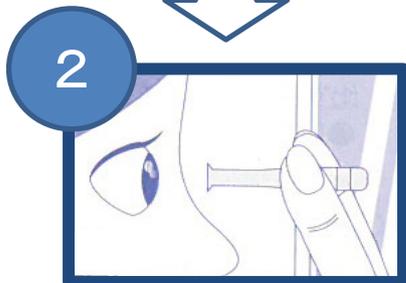
★もう片方の眼も同じ方法でレンズをつけます。

※本資料は取扱説明書の一部を抜粋した資料です。レンズを取り扱う前に、必ず取扱説明書をご確認ください。

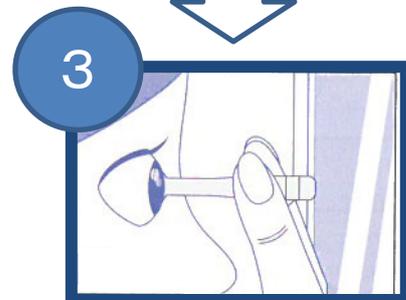
レンズのはずし方②



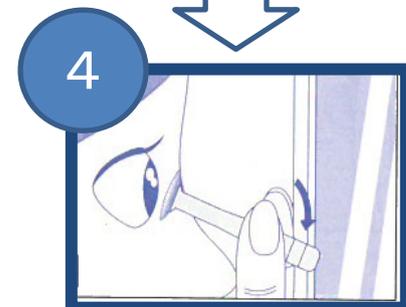
鏡を見ながら両眼を大きく開け、レンズが黒眼にのっていること、動いていることを確認します。利き手の人差し指と親指で、コンタクトレンズ専用スポイト（以下スポイト）を持ちます。



両方の眼で鏡を見ながら、大きく眼を開けます。



スポイトをレンズのまん中に、まっすぐに軽く押しつけます。



そのままスポイトを下にさげ、眼をつぶらないよう注意しながらレンズをはずします。

※爪やスポイトが直接眼に触れないようにご注意ください。眼に直接接触すると、眼にキズがつくことがあります。

※レンズをはずす際は、スポイトをレンズに強く押しすぎないようにご注意ください。

※レンズが一度ではずれない場合は、いったんスポイトを離し、数回強くまばたきをしたり、人工涙液等を点眼し、もう一度最初からやり直してください。なお、人工涙液等の使用については眼科専門医の指示に従ってください。

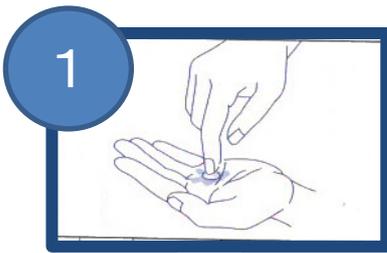
■ レンズを取扱う前に

レンズのケアを怠るとレンズに汚れが蓄積し、眼障害をおこしたり、レンズ素材の劣化を早めたりすることがありますので、レンズ装用後は必ずレンズのケアを行ってください。



酵素洗浄保存液 洗浄液
「コレクトケア®」 「コレクトジェルケアプラス®」

■ 毎日のお手入れ



1 手のひらにレンズの凹面を上にしてレンズを置き、「コレクトケア®」をレンズに数滴落とし、爪がレンズに触れないように指の腹で軽くこすりレンズの両面を丁寧に洗浄してください。汚れをすっきり落としたい場合は、洗浄液「コレクトジェルケア®」を使用してください。



2 レンズを水道水で十分にすすぎ、レンズケースのホルダーに収納します。レンズの左右入れ間違いにご注意ください。



3 レンズケースに、「コレクトケア®」を9分目まで入れキャップを閉め、そのまま放置します。レンズ装用までそのまま放置してください。汚れやすい方、涙の少ない方、アレルギー体質の方などは、月1回以上のメーカー推奨のタンパク除去剤のご利用をおすすめします。



オルソケラトロジー専用レンズケース

- ※一度使用した保存液は再使用できませんので、レンズケースの中の液は毎日取り替えてください。
- ※市販のハードコンタクトレンズ用レンズケースは、ホルダー部分がブレスオーコレクトのサイズに合わないため、レンズが変形することがあります。必ずオルソケラトロジー専用レンズケースをご使用ください。
- ※レンズケース、スポイトは汚れや菌の繁殖を防ぐため必ず定期的に交換するようにしてください。